

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月26日		記入者		内線	676
部 名	生涯学習部	課 名	青少年課		課長名	吉田諭
事務事業名	青少年学習センター施設維持管理費					
予算上の事務事業名	施設維持管理費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14210		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政 策 名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します					
基本施策名	第2節 青少年の健全育成					事業開始年度
施 策 名	第1施策 青少年活動の促進					平成11年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市立青少年学習センター条例、同施行規則					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	維持・管理・補修 ▼					
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)						(2) 対象(誰、何)
青少年学習センターの施設を良好な状態に整えて、利用者の利便性・快適な環境づくりを図る。						青少年・青少年育成団体 一般団体等センター利用者
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
主な内訳(千円)						
光熱水費	・・・4,326					
物品・施設修繕料	・・・20,235					
委託料	・・・7,921					
土地賃借料	・・・10,628					
6 関連・類似事業や他市の状況						
7 事業費の推移	[単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	28,402	28,694	45,090	30,669	30,669	
一般財源	10,196	10,267	43,110	28,909	28,909	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	18,206	18,427	1,980	1,760	1,760	
人件費の合計	510	491	708	495	495	
事業コスト合計(a)	28,912	29,185	45,798	31,164	31,164	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	青少年学習センター施設維持管理			対象名称 (単位)	施設(貸館)利用者(人)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	28,912	29,185	45,798	31,164	31,164	
対象数	76,101	94,305	96,262	97,000	97,000	
単位あたり経費(円)	380	309	476	321	321	
前年度比		0.81	1.54	0.68	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	施設(貸館)利用者		指標式と指標の説明	施設(貸館)利用者(人)	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	76,101.0	94,305.0	96,262.0		
目標	0.0	0.0	0.0	97,000.0	97,000.0
目標達成度					
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	施設利用率		指標式と指標の説明	利用件数 / (開館日数 × 9部屋 × 3時間帯)	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	48.7	53.8	57.5		
目標	0.0	0.0	0.0	60.0	62.0
目標達成度					
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		青少年の居場所としての機能充実を図るための工夫やPRの必要がある。 ・大学生や高校生の利用拡大	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 センター利用者の意見を参考に、備品購入や施設修繕を順次実施し、良好な環境づくりに努める。			14 課題として認識されたこと 県から引き継いだ機械設備や備品などで老朽化したものについて、安全性の観点からも修繕等を進めていく。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			